

傘寿の歩み

句集

傘寿の歩み

句集 傘寿の歩み

---

1994年6月30日発行

著者 平井石龍  
〒340 埼玉県八潮市2-968  
0489(95)0643

印刷所 横山印刷株式会社  
〒130 東京都墨田区亀沢1-9-14  
03(3622)6161

---

# 目次

新年の句	十六句	昭和六十二年より平成六年
餅の黴	六十三句	六十二年
ねじり花	六十三句	六十二年
小銭の余韻	六十九句	平成元年
戦線回顧	六十九句	二年
喜寿	七十四句	三年
墨淡く	六十八句	四年
秋の彩	四十二句	五年
傘の歩み	三十六句	六年
傘寿	一編(詩)	
あとがき		
俳歴		
略歴		
題字		
森田公司氏		

188 187 186 184 171 155 131 105 81 57 35 13 3



# 新年の句

昭和六十二より平成六年

昭和六十二年 新年

塩掛けて願ふ地蔵に初詣で

餅の徴削りつ戦憎みをり

昭和六十三年 新年

初御空鳶一片の点となる

初刷りの「蟻の歩み」を膝に置く



平成元年 新年

鍵穴に留守を預けて初参り

初詣で投げる小銭の余韻かな

平成二年 新年

松  
取  
れ  
て  
働  
く  
音  
の  
戻  
り  
来  
る

初  
天  
神  
嘘  
の  
幾  
つ  
か  
そ  
っ  
と  
捨  
て

平成三年 新年

戸を繰れば恵方に遊ぶ初雀

賀状書き猫と疲れの眼が戯ぶ

平成四年 新年

声 変 はり したる 孫よりの 初電話

書 き 初 め の 文 字 が よ ろ け る 四 方 の 海

平成五年 新年

孫に勝ち譲るクイズや初笑ひ

列島の春や皇子の妃が決まる

平成六年 新年

子宝を宿る知らせの初便り

初春や傘寿の歩み振り返る



餅の徽

昭和六十二年



柔らかな陽に向き替へる福寿草

着く度にホームに零す春の彩

紋白の好む高さや豆の花